

小松基地騒音訴訟

生活防衛や精神的苦痛を訴える

航空自衛隊小松基地の自衛隊機と米軍機の騒音に対し、夜間などの飛行差し止



航空自衛隊小松基地に配備されているF35Aステルス戦闘機

夜間訓練

やめて！

めを求めた第7次口頭弁論が12月1日行われました。

原告弁護団は、平成28年度の厚木基地訴訟（早朝・夜間の飛行中止を求め、神奈川県周辺の住民の約8000人が訴えた）の最高裁判決で示された「健康被害があり、その程度は軽視しがたい」と4つの要素を示して決着している。小松でもその要素は充足している一と厳しく主張しました。

これから、F35Aステルス戦闘機の配備に伴う騒音について、年2回実施している「騒音測定」のデーターや「住民の健康

調査」結果を分析し、科学的な資料を提示して闘う方針です。同時に、自衛隊そのものの違憲性を問う行政訴訟にも踏み込んでいくことにしています。

平和と民主主義を守り、暮らし優先の願い込めて一票を！周りにも広げよう

突然の衆議院選挙です。一貫して「平和と民主主義」を追求してきた日本共産党から、北陸信越ブロック比例代表として立候補する藤野やすふみさん。石川1区から村田しげるさん。2区から坂本浩さん、3区は南章治さんが出馬します。

また、知事選には能登半島地震の被災者に寄り添ってきた黒梅明さんが無所属＝共産党県委員会推薦。金沢市長選挙には新婦人金沢支部長の中内てるこさんが出馬します。

住民の暮らしを守るのか、大企業優遇か、軍事国家づくり優先の政治を許すのか一鋭く問われる一連の選挙です。手を繋いでがんばりましょう！

“平和の仲間づくり”を進めよう！

会費は月／350円。平和新聞は毎月2回発行 470円。

月間の運動誌／300円です。

ニュース フラッシュ

- 11月4日 県憲法会議「憲法改悪NO！大軍拡・大増税NO！全県キャラバン」スタート。14日まで
5日 なんぶアクション合同スタンディングアピール
5日・6日 小松市民センターで「全国基地連総会」
6日 県原水協、エムザ前で「6・9署名行動」
10日 小松基地で日米共同訓練（三沢基地より訓練移転）
12日 「怒りの昼デモ」
13日 福井県遺族会の要請で「金沢城公園内の戦跡ガイド」山野健治代表理事が案内
15日 土地利用規制法を学ぶ市民集会（平和町会館）＝千坂純・日本平和委員会事務局長が講演
19日 市民アクション・いしかわがエムザ前で街頭宣伝
12月1日 小松基地爆音訴訟公判
7日 12・8平和を守るついで「対馬丸-子どもたちの見た戦争」を鑑賞
9日 6・9行動
10日 「怒りの昼デモ」
15日 エムザ前で沖縄連帯宣伝行動
19日 市民アクション・いしかわ 高市首相の「台湾有事」発言の撤回を求めて街頭宣伝
2026年
1月1日 県原水協の「元旦署名行動」に10人が参加して56筆を集める
15日 エムザ前で「沖縄連帯街頭宣伝」

内藤晴一郎・代表理事がハンドマイクで訴える



トランプ政権によるベネズエラへの軍事攻撃に抗議し、国際法と国連憲章を守ることを求める要請書

1月3日、米国トランプ政権は南米ベネズエラに軍事攻撃を加えた。そして、ニコラス・マドゥロ大統領とその妻を拘束し、米国内へ移送した。

私たちは、国際法と国連憲章に反するトランプ政権による軍事攻撃を強く非難する。国連憲章第2条4項の武力使用禁止原則に反しており、国連安全保障理事会の手続きを経ず、ベネズエラが米国を攻撃していない中での軍事攻撃は自衛権行使にも該当しない。また、他国の主権を侵害し、国家元首や政治家を一方的に拘束し連れ去ることは、国際法違反の野蛮な行為と言わざるを得ない。

トランプ大統領は、麻薬対策などを口実にしているが、世界最大の埋蔵量をもつベネズエラの石油などの資源を米国が確保しようとする意図は明確で、一国の体制を外務か

ら強制的に転覆する目的も全く正当化できない。

ベネズエラのマドゥロ政権は人権侵害や国内政治の混乱など批判されるべき点も多くあるが、民間船舶を公海上で警告もなく爆撃、海上封鎖、石油タンカーの拿捕など、国連人権理事会と特別報告の報告からも国際人道法違反の可能性が高いとされている。また、米国国内でも連邦議会の承認もなく大規模な軍事作戦に踏み切ったことは強く非難されている。

私たちは、トランプ政権がベネズエラ国民の主権と民族自決権を守ることを強く求める。

2026年1月12日 石川県平和委員会事務局会議

【抗議文の送付先】〒107-8420 東京都港区赤坂1-10-5
アメリカ合衆国大使館
FAX 03-3224-5064